

## (2) 夢づくり推進賞（県民局長表彰）

【表彰式】

日時：平成22年6月8日（火）

場所：県民局会議棟1階会議室

### 県大そうじゃ子育てカレッジ

（県大そうじゃ子育てカレッジ実行委員会 委員長 岡崎順子）



地域ぐるみで子育て支援拠点の運営・サービスの提供を行う子育てカレッジづくりを目指し、平成21年6月から協働ミーティングを開催し、平成21年12月に実行委員会を設立。その後協働推進会議の開催、大学子育てオープン化事業等の備中県民局等との協働事業を経て、平成22年3月30日に大学内子育て支援拠点となる「県大そうじゃ子育てカレッジ」をオープンした。

### ビジネスおかみが「食のプロデュース」で町を活性化！！

（玉島おかみさん会 代表者 浅原真弓）



玉島の白桃、良寛ゆかりのしのうどん等の倉敷のブランドづくり、お雛づくしの開催、食の場を通じた地域コミュニティの創出等による、積極的な地域活性化に尽力した。

### 先進的な子育て支援拠点事業の実施

（子育て応援っこ 代表者 福光節子）



商業施設(天満屋ハピータウン総社店)において平成21年4月から子育て支援拠点「なかよし広場びよっこ」を開設し、土日も運営していることから、これまで他のつどいの広場には出向くことのできなかった深刻な悩みを抱える親子や育児に関わりの薄い父親も気軽に立ち寄ることができ、地域の子育て支援の充実に大きな役割を果たしている。

### 食文化の伝承活動による地産地消の推進

（技あり会 代表者 馬場倫子）



平成19年度から倉敷市民学習センターと「技あり会」が協働して、一般消費者を対象に伝承講座を開催している。また年間2回程度研修会を開催し、今年度は米粉の使用方法について知識を深め、団子作りや米粉パンづくりの伝承活動に活かされている。また会員等が持っている食に関する伝承技術や知恵をまとめた冊子「備中地域“食・くらしの知恵と技”」を作成した。

### 地産地消の推進と食文化の伝承

（井笠の味づくり研究会 代表者 花木美世子）



地域農林水産物を使った創作料理を「井笠の味百選」として、レシピ集にまとめている（年1回「井笠の味検討会」を開催し、研究会員が1年間研究した新しい創作料理を出品し、試食しながら新たな井笠の味百選候補を選出し、更に研究し、百選に加えていく取り組みを行っている）。

椿油の生産と椿による島おこし  
(飛島「つばきの里」 会長 山下松男)



椿油の生産の復興に取り組み、製品化している。製品はNPO法人「かさおか島づくり海社」が笠岡市内に開いている笠岡諸島のアンテナショップ「ゆめポート」で販売し、飛島のPRの一翼を担っている。

地域に根ざした「発達障害児と保護者への支援」  
(NPO法人 color 理事長 行藤路代)



発達障害が疑われる不登校児や引きこもり者への乳幼児期からの一貫した支援体制の整備が急務となっている中、備中県民局との協働事業として「発達障がい児の未来応援団事業」(発達障害児の支援体制づくり)の実施や児童デイサービス(療育事業)の運営、「発達障害児の親の会」の立ち上げ、発達障害児に対する理解を促進するための普及啓発等を実施している。

新規参入者の受入れによるピオーネ産地の拡大と地域の活性化  
(阿新農協ぶどう部会 部会長 清原保)



日帰りから1週間程度の短期体験を市と協働して受入れ、多くの人に農業にふれてもらい新規参入へ誘導。本格的に農業に取り組む参入希望者を対象に1カ月間の農作業と農村生活体験を県と協働し指導、2年間の実践トレーニングを行う実務研修を農協と連携し支援している。また受入体制の整備のため、農業体験研修生選考面接会に委員として参画する他、部会員、先輩新規参入者等と関係機関が協働し、栽培技術の習得、増反のための農地や農園情報の提供、生活相談に対応している。